

# F SPORT PARTS (TRD)

## MS341-53003/4/5 フロントスポイラー

**取付・取扱要領書**

この度はF SPORT PARTS (TRD) フロントスポイラーをお買い上げ頂きありがとうございます。  
本書には、上記商品の取付・取扱要領について記載してあります。  
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。  
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

**■ 品番・適合**

品番	塗装色	適合車種	型式	年式	備考
MS341-53003-A1	ホ仆ノグアGF (083)	IS200t	ASE30	'16.10 ~	
MS341-53003-A2	ソニックオツ (085)				
MS341-53003-B2	ソニックチカム (1J7)	IS350	GSE31		
MS341-53003-C0	ブラック (212)				
MS341-53003-C2	グレアイトブラックGF (223)	IS300h	AVE30		
MS341-53004-NP	未塗装品 (プライマー処理品)		AVE35		
MS341-53005	ブラック (212)				

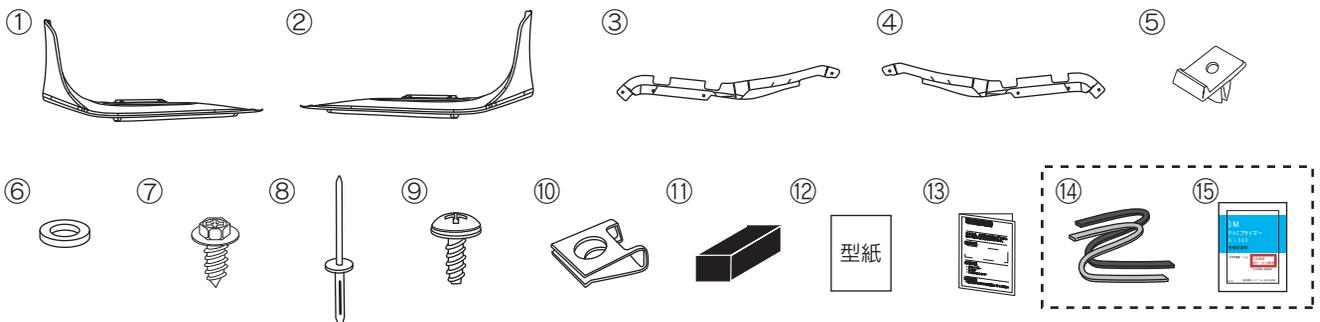
\*ディーラーオプションを含み、他社製品との同時装着は出来ません。  
\*開封時に必ず構成部品が揃っていることを確認してください。

**■ 構成部品**

	部品名	品番	数量	備考
①	フロントスポイラーRH		1	
②	フロントスポイラーLH		1	
③	別ピース RH		1	
④	別ピース LH		1	
⑤	グロメット		2	
⑥	ゴムワッシャー		2	
⑦	タッピングスクリュー		2	
⑧	リベット		10	
⑨	タッピングスクリュー		4	
⑩	Jナット		4	
⑪	エプトシーラー		2	10×10×4.2
⑫	型紙		1	A4シール
⑬	取付・取扱要領書		1	本書は大切に保管してください。

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。  
以下、MS341-53004-NP (未塗装品セット) のみに同梱

	部品名	品番	数量	備考
⑭	モール		各1	黒/グレー L=1550mm
⑮	PACプライマー		1	K-500



⑬⑭は未塗装品にのみ同梱

# 取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

**作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。**



## 警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



## 注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



## アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

### ⊘ やってはいけないこと

### ❗ 必ず行なっていただくこと

## ⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

## ⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

## 脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

## 両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

## 未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高くと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

## 取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

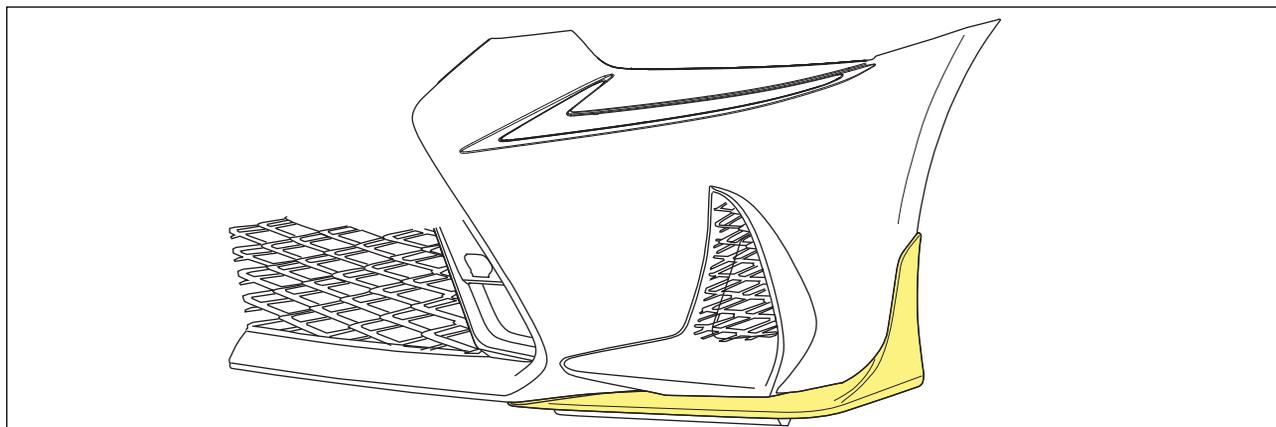
## 目次

- 1 . 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 . . . . . 1
- 2 . 取付け上のご注意(取付け作業者の方へ) . . . . . 2
- 3 . 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 . . . . . 3
- 4 . 取付け要領 . . . . . 4 ~ 10
- 5 . 取付け後の確認・点検 . . . . . 10

## 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具(ハサミ、カッター、ドリル、キリ、ホルソー等)・ヤスリ・リベッター
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

## 取付構成図

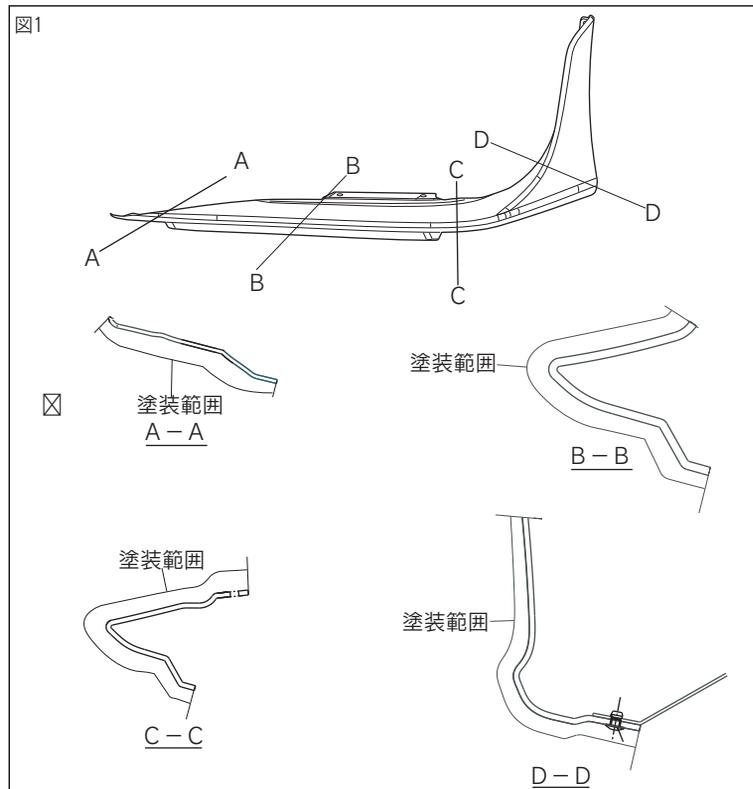


## 未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品 (MS341-53004-NP) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

### □ フロントスポイラーの塗装

※本取付・取扱要領書は、主に LH を示しております、RH も同様に行ってください。



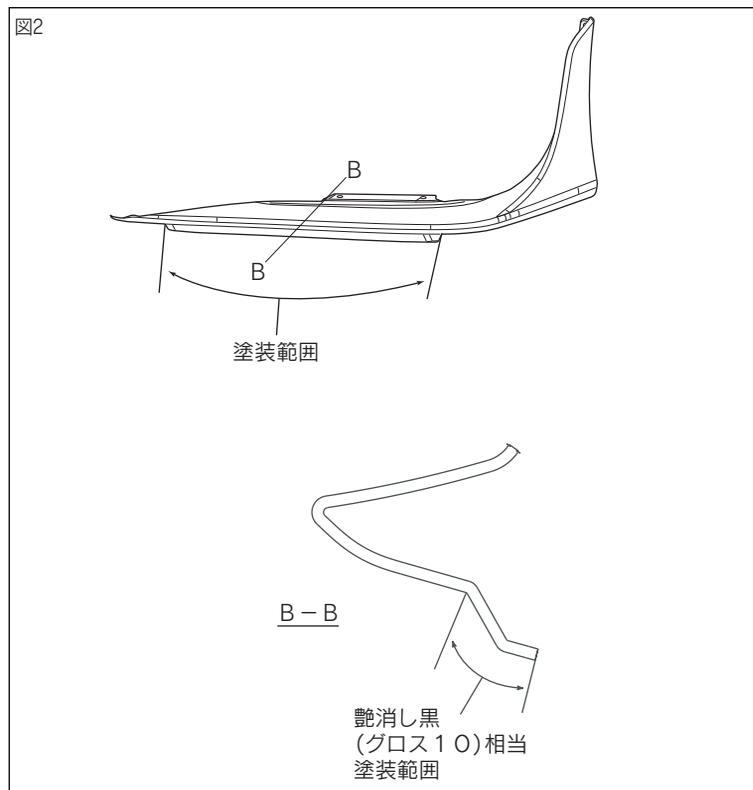
### □ フロントスポイラーの塗装

1. 図1のようにフロントスポイラー②をボディカラーで塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下、IPAという）又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

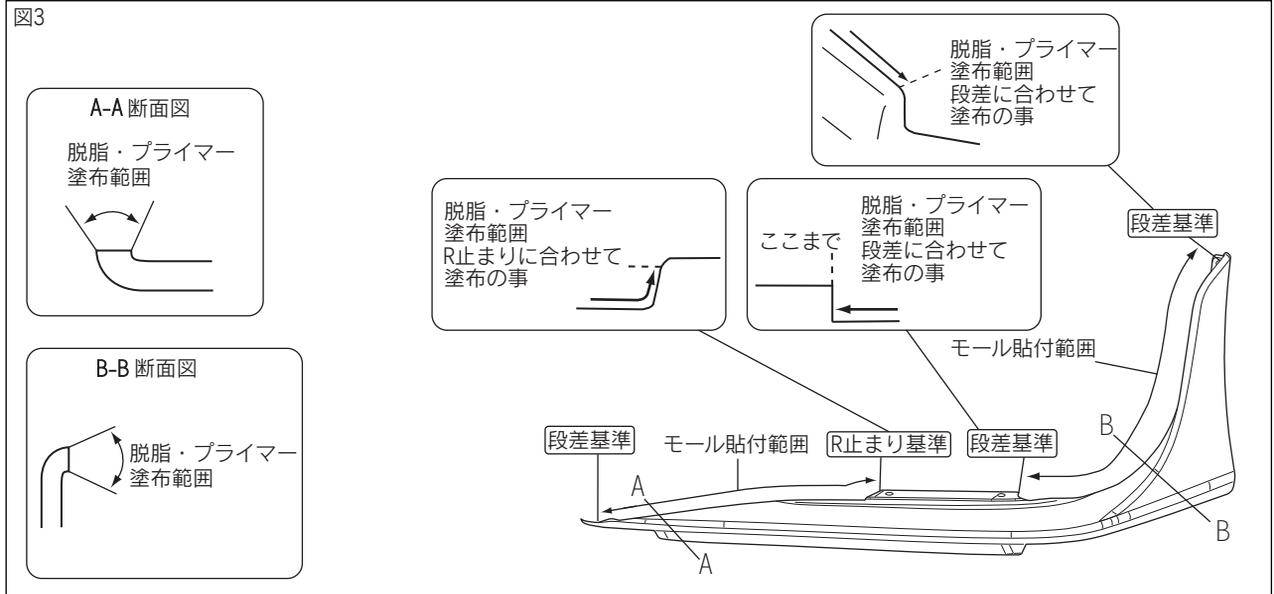
△注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には充分注意してください。強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。



2. 図2のようにフロントスポイラー②を、艶消し黒 (グロス10) 相当で塗装する。

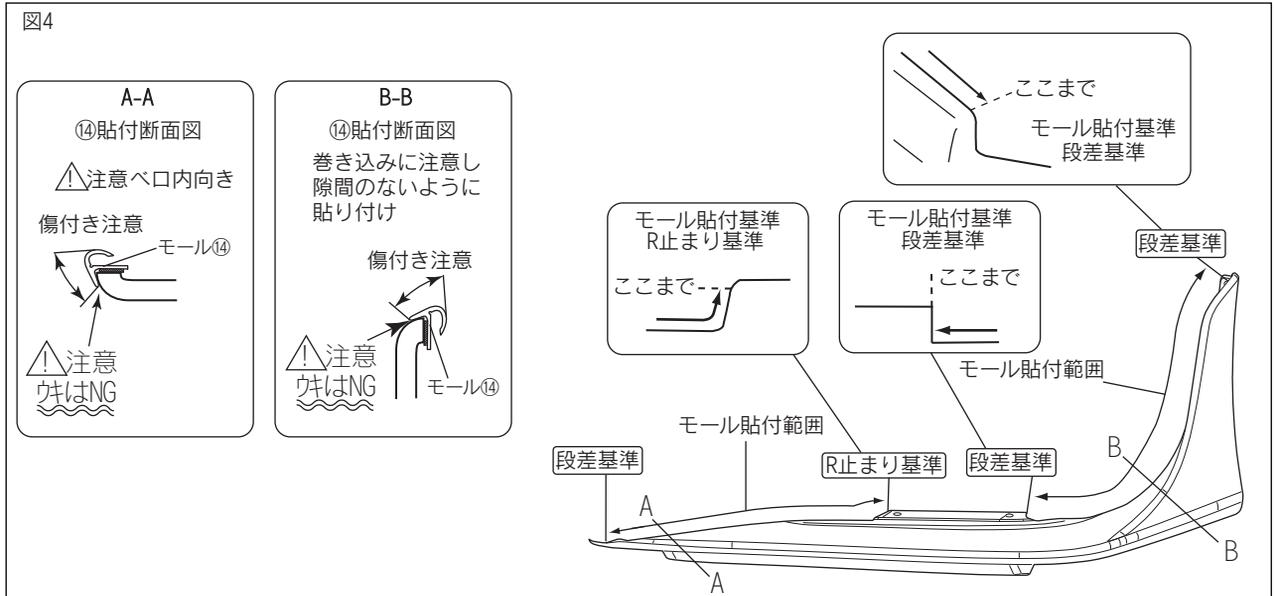
□モールの貼付け



1. 図3のようにモールの貼付部の汚れを取除きIPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーK-500<sup>®</sup>を塗布する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

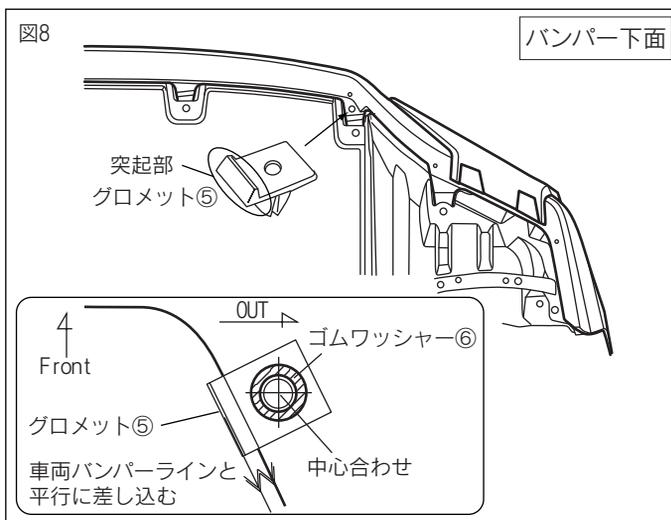
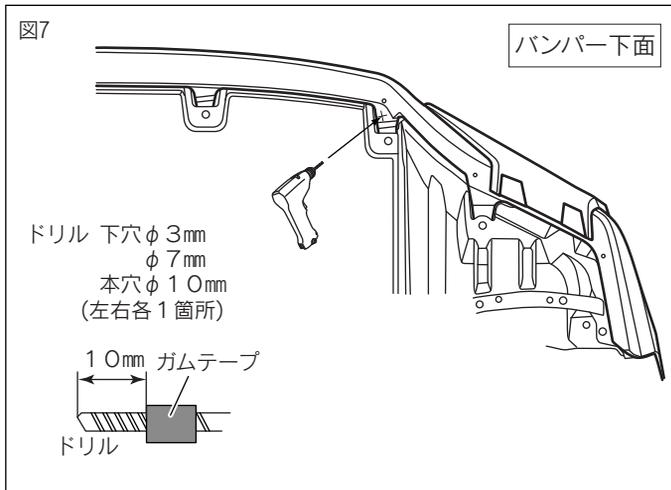
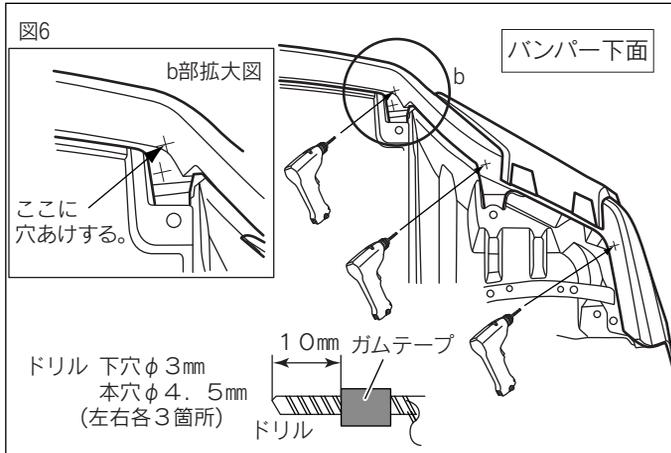
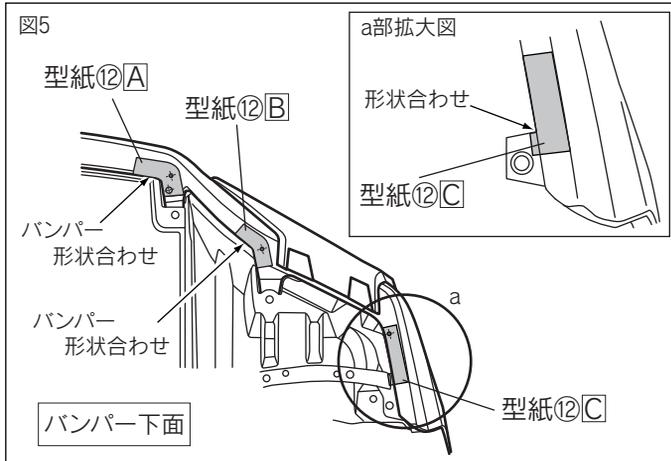


2. 図4のようにフロントスポイラー②に、モール⑭の離型紙を剥がしながら、貼付け確実に圧着する。  
**{ 49N ( 5kgf ) 以上 }**

👉アドバイス：モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。

⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及びスポイラーの貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

⚠注意：モール⑭は、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モール色を選択し貼付けてください。



□取付準備

1. 図5のように、型紙⑫A、⑫B、⑫Cを台紙から剥がし、フロントバンパーの下面部に貼付け、穴センターにマーキングを行い、型紙を剥がす。  
(左右各4箇所)

△注意：型紙端末がずれていると穴あけ位置がずれてしまうため、型紙の貼付けは正確に行ってください。

👉アドバイス：穴あけ位置のマーキング後にフロントスポイラーを仮合わせして、マーキング位置とスポイラーの穴位置を確認してください。

2. 図6のように使用するドリルの先端にストッパーとなるよう10mmの位置にガムテープを巻きつけφ3mm、φ4.5mmの順にドリルを使用して、フロントバンパーのマーキング位置に穴をあけ、穴のバリを取除く。  
(左右各3箇所)

3. 図7のように使用するドリルの先端にストッパーとなるよう10mmの位置にガムテープを巻きつけ、φ3mm、φ7mm、φ10mmの順にドリルを使用してフロントバンパーのマーキング位置に穴をあけ、穴のバリを取除く。  
(左右各1箇所)

👉アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

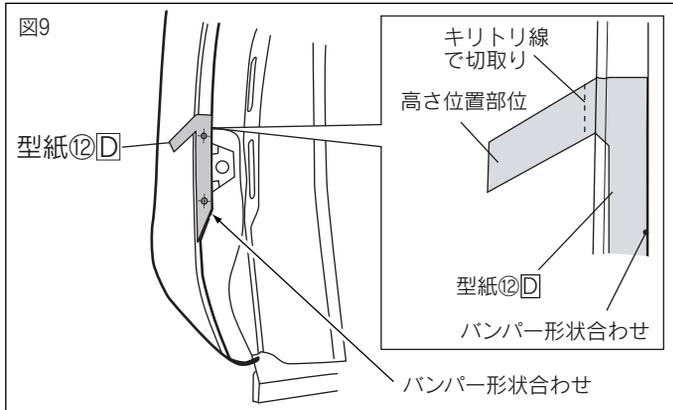
△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

△注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取除いてください。

4. 図8のように穴あけした下面にグロメット⑤の差し込む向きに注意しながら差し込む。  
(左右各1箇所)

△注意：図8のようにグロメット⑤の差し込む向きに注意してください。逆に取付けるとフロントスポイラーが取付かなくなります。

5. グロメット⑤の穴位置中心に合わせて、ゴムワッシャー⑥を貼付ける。  
(左右各1箇所)

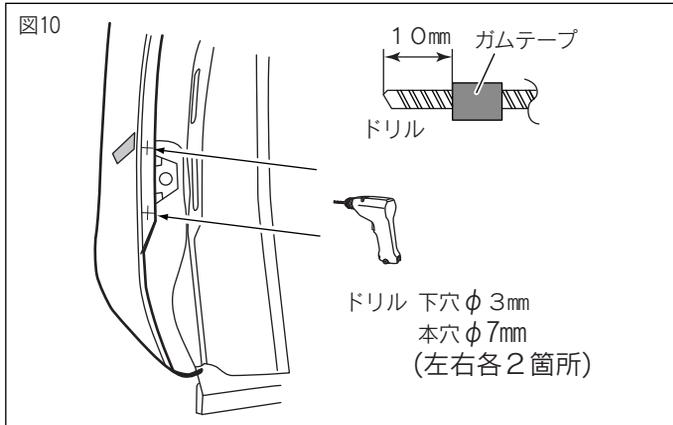


6. 図9のように、型紙⑫Dを台紙から剥がし、フロントバンパーのホイールハウス部に貼付け、穴センターにマーキングをする。  
(左右各2箇所)

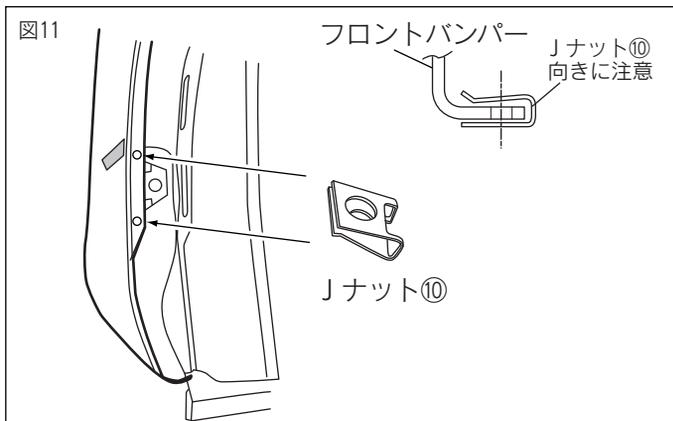
7. 図9のように、高さ位置の部位を残してキリトリ線で切り取り、型紙を剥がす。  
(左右各1箇所)

⚠注意：型紙端末がずれていると穴あけ位置がずれてしまうため、型紙の貼付けは正確に行ってください。

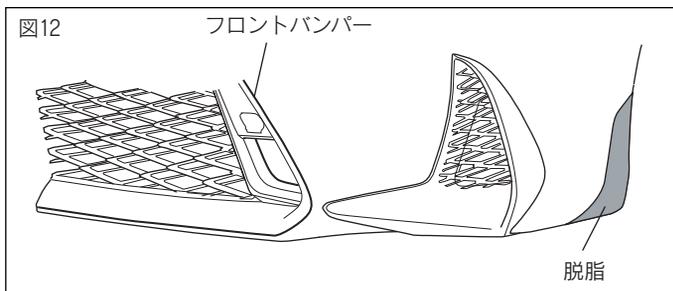
👉アドバイス：穴あけ位置のマーキング後にフロントスポイラーを仮合わせして、マーキング位置とスポイラーの穴位置を確認してください。



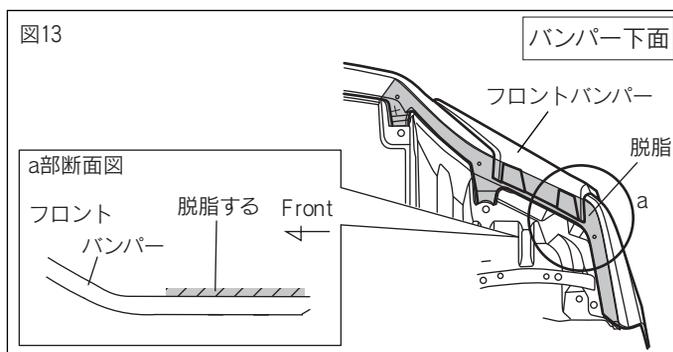
8. 図10のようにφ3mm、φ7mmのドリルの先端にストッパーになるよう10mmの位置にガムテープを巻きつけφ3mm、φ7mmの順にドリルを使用してフロントバンパーのマーキング位置に穴をあけ、穴のバリを取り除く。  
(左右各2箇所)



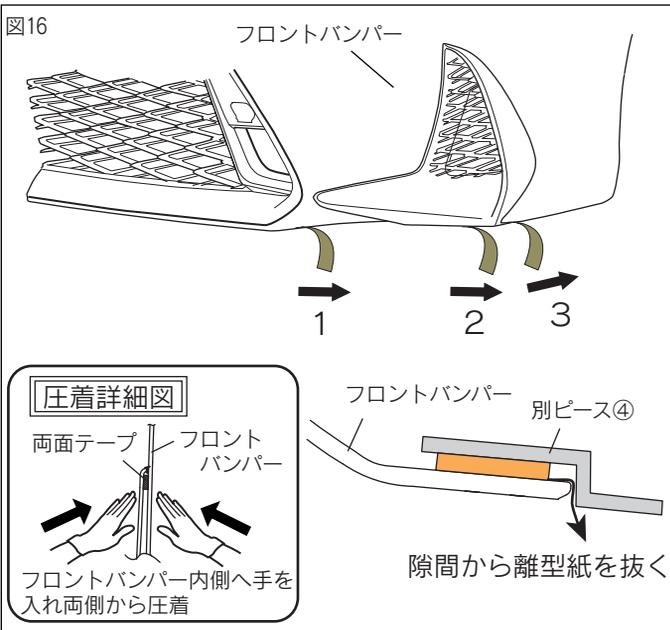
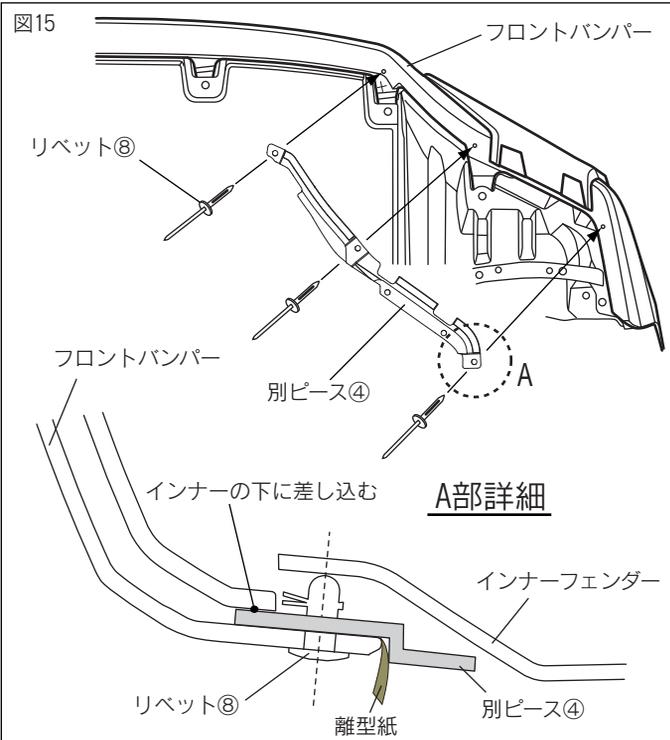
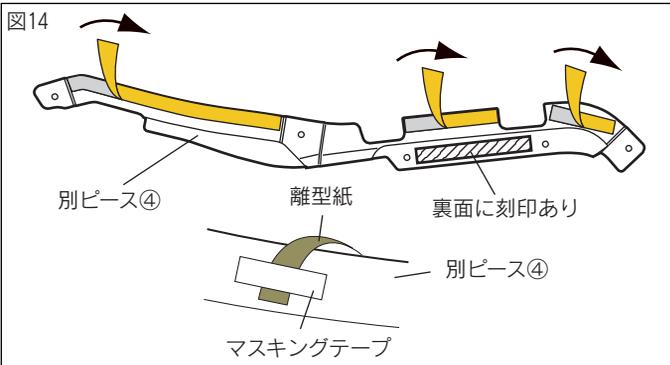
9. 図11のようにフロントバンパーホイールハウス部にJナット⑩を差し込む。  
(左右各2箇所)



10. 図12のようにフロントバンパーのフロントスポイラー②取付部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。



11. 図13のようにフロントバンパーの別ピース④取付部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。



□取付準備

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

1. 図14のように、別ピース④の両面テープの離型紙を、矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープで裏側に貼付ける。  
(左右各3箇所)

△注意：両面テープの離型紙を全て剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

2. 図15のように、別ピース④をフロントバンパー裏側に差込み、離型紙の出方を確認する。  
(左右各3箇所)

3. 図15のように、リベット⑧を差し込み、マスキングテープ等で貼付けて仮固定する。  
(左右各3箇所)

△注意：リベットの固定は離型紙を剥がした後に作業を行ってください。この時点でリベットを固定してしまうと離型紙が剥がせなくなる場合があります。

4. 図16のように、別ピース④をフロントバンパーに押し当て、両面テープの離型紙(左右各3箇所)を番号順に剥がしながら貼付け圧着する。  
**{49N (5kgf) 以上}**

5. 作業3で仮固定したリベット⑧を本固定する。  
(左右各3箇所)

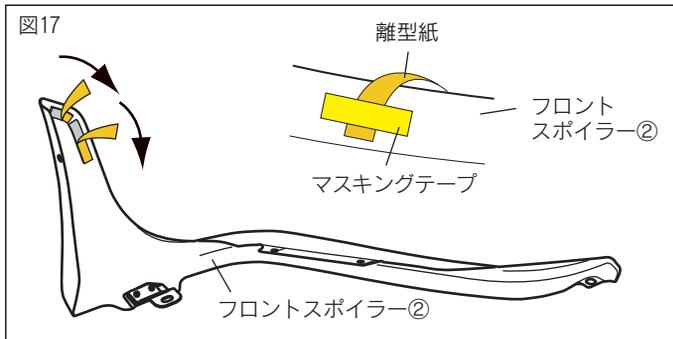
△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥がれが発生する恐れがあります。

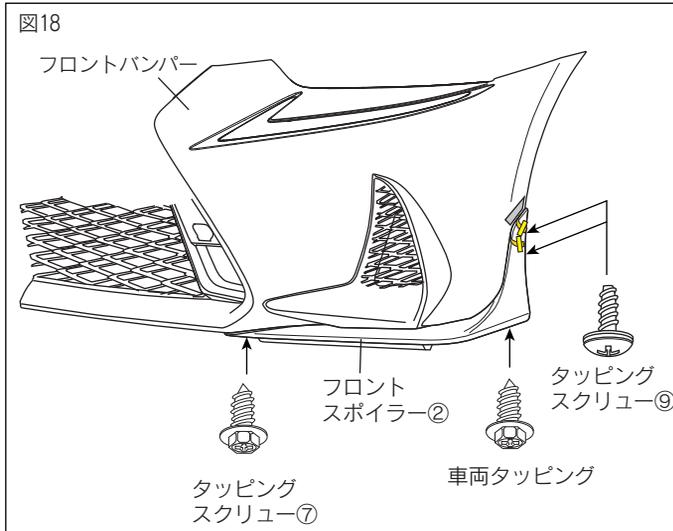
△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉 アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要です。製品の取付後は最短3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、かからないようにオープンタイム(静止時間)をお取ください。

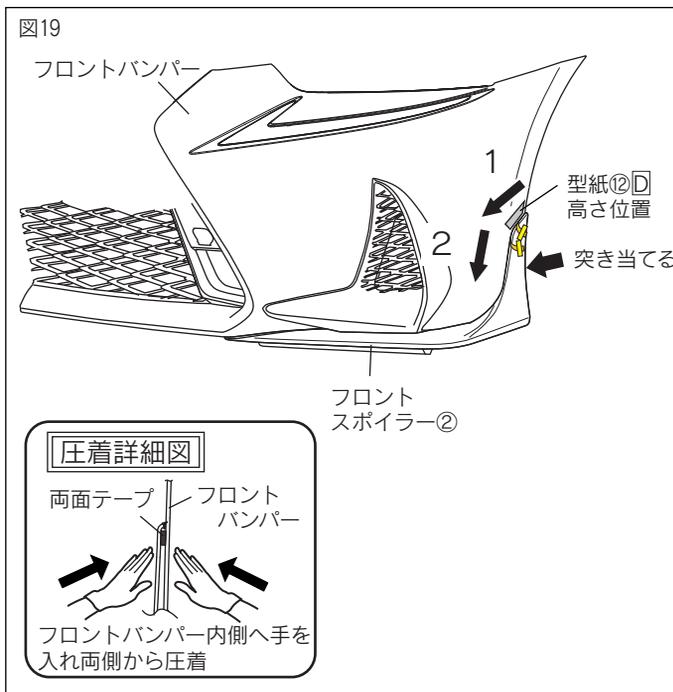


6. 図17のようにフロントスポイラー②の両面テープの離型紙を、矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。  
(左右各2箇所)

△注意：両面テープの離型紙を全て剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。



7. 図18のようにタッピングスクリュー⑦、タッピングスクリュー⑨と車両タッピングで仮固定する。  
(左右各3箇所)



8. 図19のように、フロントスポイラー②をフロントバンパーホイールハウス部に突き当て、型紙⑫Dの高さに合わせた後、フロントバンパーに押し当て、両面テープの離型紙(左右2箇所)を番号順に剥がしながら貼付け圧着する。 **{49N (5kgf) 以上}**

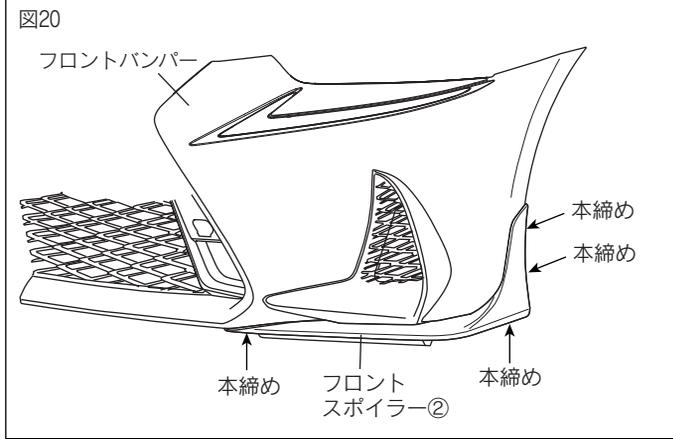
△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥がれが発生する恐れがあります。

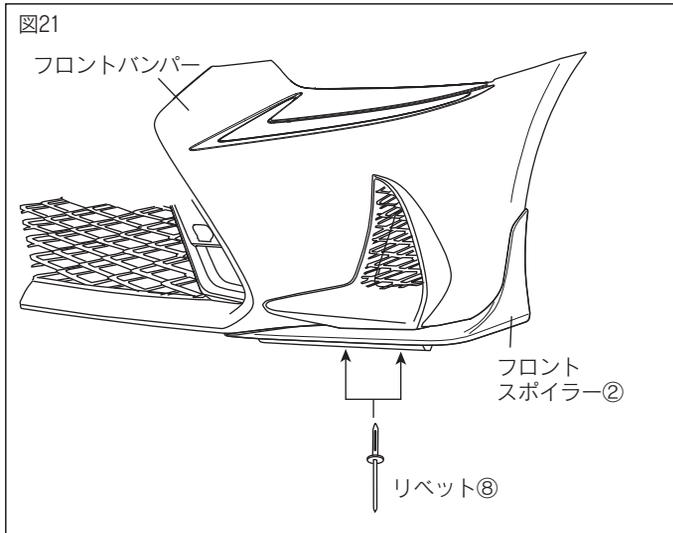
△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉 アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要です。製品の取付後は最短3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、かからないようにオープンタイム(静止時間)をお取ください。

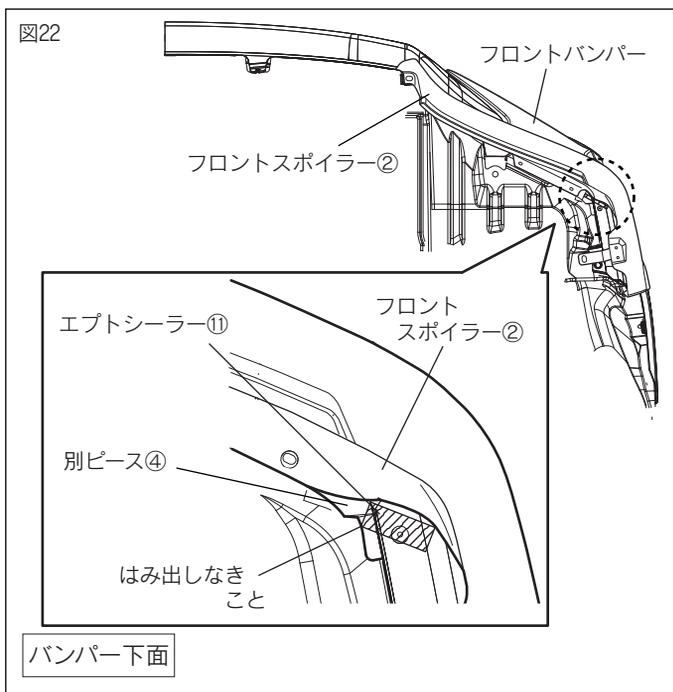


9. 図20のようにタッピングスクリュー⑦、タッピングスクリュー⑨と車両タッピングを本締めする。  
(左右各3箇所)

アドバイス: オーバートルクでの締付けは、タッピングスクリュー・ナットが破損する恐れがあります。



10. 図21のように、フロントスポイラー②と別ピース④をリベット⑧で固定する。  
(左右各2箇所)



11. 図22のようにフロントバンパー下面部のエプトシーラー①貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

12. 図22のようにフロントバンパー下面部にエプトシーラー①を貼付ける。  
(左右各1箇所)

■ 取付完了後の点検・注意事項

1. フロントスポイラーがタッピングスクリューにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. フロントスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品の全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。

